

## 市民と議員の懇談会【主な意見・提言・要望事項】

### 【1班】

2月5日（狐禅寺市民センター 自由参加52名）

- ① 当局は、狐禅寺地区に焼却場建設計画案を示す前の分を含め、関連する行政内部の会議録を公開すべき。（資料等を示しながら、当局の対応を縷々説明）
- ② 焼却場建設計画が狐禅寺地区に提案されたことにより、コミュニティがバラバラになった。
- ③ 覚書を守るべき。
- ④ ILC関連のこれまでの予算はいくらか。
- ⑤ ILC誘致による市への効果はあるのか。
- ⑥ 放射性廃棄物の貯蔵施設になるのではないか。
- ⑦ ごみ焼却による放射能の風評で中里のコメが安い。
- ⑧ 焼却場は市長の出身地東山に建てるべきだ。
- ⑨ 焼却場問題が狐禅寺地区の分断の元となっている。
- ⑩ 焼却場は各地区持ち回りで設置すべきだ。
- ⑪ 焼却場建設計画案を前に進めるべき。出席議員の考えを聞きたい。
- ⑫ 今年1月18日付けの「狐禅寺の自然環境を守る会」の会報は情けない。狐禅寺地区生活環境対策協議会を機能させるのが筋ではないか。会議の邪魔をするな。（狐禅寺の自然環境を守る会に対して）
- ⑬ 旧南光病院は、放射性廃棄物（側溝土砂）の一時保管場所の候補となったが、跡地の利活用を願う。一関病院の現状を含めて考えてほしい。
- ⑭ 去年の3月議会で、議員発議によるエネルギー循環型施設整備促進の決議があったが、議員の役割は行政の監視ではないか。
- ⑮ 今日、配布された資料の中に（焼却場建設は）狐禅寺ありきの表記がある。  
※配布資料「市民と議員の懇談会」の3、29年度の主な施策と予算の説明文中、裏面の末尾を指摘したもの。
- ⑯ 焼却場は必要な施設であるが、建設場所の選定は同一地区の選定ではなく、何カ所かの候補地を選定し、その地区ごとの開発整備を約束し、住民の合意を得るべきだ。
- ⑰ ごみ袋の変更できえも全市のパブリックコメントがある。焼却場建設ではなぜやらないのか。公平ではない。
- ⑱ 焼却場建設がここ（狐禅寺）でなければならぬ理由がわからない。
- ⑲ 昨年1月に市長・議長に狐禅寺地区への廃棄物処理施設建設反対の署名簿を添えて陳情したが、議会は建設促進の決議をした。
- ⑳ 議会は市長に追随しているだけだ。
- ㉑ 狐禅寺地区では焼却場施設の固定化を防ぐために、ダイオキシン除去のた

めの大規模な改良を選択し、「今後、狐禅寺地区にはごみ焼却施設建設はしない」との覚書を締結した。

- ② 放射能除去を含め、不安材料は払拭されない。
- ③ 狐禅寺地区に新たな地域振興策は必要ない。
- ④ 一関地区広域行政組合の視察場所は、当地と違って埋め立て地や海のそばだ。ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、鎌倉市に視察に行ってもらいたい。
- ⑤ 最終処分場、ごみ袋にしても、住民の声を反映していない。
- ⑥ 焼却場から1キロぐらいに住んでいる。山水を利用していたが、ダイオキシン問題の際、上水道が敷設された。
- ⑦ 焼却場は世界一の公害発生施設だ。ダイオキシン、放射能、更にあらゆる重金属の発生がある。排出基準があることが危険だ。
- ⑧ 覚書の遵守を求める。
- ⑨ 平日の10時台の懇談会では、若い人の参加は望めない。遅い時間とか、休日の設定が必要だ。
- ⑩ 人口減とともに、議員歳費、市長、職員の給料を下げ、除雪など住民の利便性に意を配した事業に充てるべき。
- ⑪ 焼却場は科学的根拠に基づき狐禅寺はもとより、全市の市民の合意を得るべき。
- ⑫ 高校まで医療費無償化が広がったのはよい。
- ⑬ 年収200万円以下の人が増えている。今までの企業誘致だけでなく、所得が増える手立てを考えるべき。

2月5日（東山地域交流センター 自由参加28名）

- ① 昨年10月の選挙結果投票率はどうだったか。特に、高齢者やひとり暮らしの方は。
- ② ごみ袋の種類が多い、透明袋で2系統（燃える、燃えない）にして、中身については、丸印をつける方法が良いと思う。
- ③ 焼却場建設の進捗状況はどうなっているのか。新炉の性能はどのようなものか。
- ④ 大東の焼却場では、衣類などは30センチ以下に切って出すことになっている。一関の焼却場ではそれが無いと聞いている。分別が統一されていないのではないか。
- ⑤ 年齢とともに分別が大変になる。分別を少なくしてほしい。
- ⑥ 北上製紙が扱っている古紙類の扱いはどのようになるのか。
- ⑦ 松川は商店がなく買い物、病院への交通手段がない。
- ⑧ 福祉乗車券は一関に行くと1回半でなくなる。
- ⑨ 高齢化とともにドアツウドアの交通手段が必要。
- ⑩ スクールバスやデイサービスのバスは利用できないのか。
- ⑪ 除雪が下手だ。除雪の技術向上が重要。
- ⑫ 除雪により出入り口がふさがれて困る。
- ⑬ 通学前（夜間）に除雪できないか。
- ⑭ 地域の実情に合った除雪車の選定をすべき。
- ⑮ 実情認識のためにも建設課等によるパトロールが必要だ。
- ⑯ バイオマス循環型まちづくり指定都市になり、期待している。薪ストーブの補助とともに、薪ボイラーへの補助が必要だ。
- ⑰ 広葉樹対象の薪の駅設置に協力してほしい。
- ⑱ 北上製紙の撤退、NECの人員整理が懸念される。次代の企業誘致の見通しは。
- ⑲ 商店街の活性化を図ってほしい。

※観光業の方

- ① インバウンドの受け入れについてどのように進めるのか。
- ② 巖美溪、平泉、狹鼻溪周遊バスの運行時刻を使いやすくしてほしい。例えば、舟の運航や列車の発着とリンクさせるなど。
- ③ 駅、観光地、道路等に外国語表記を増やしてほしい。
- ④ 狹鼻溪駅は2階なので、エレベーター・歩道を設置してほしい（外国人観光客は荷物が大きい）
- ⑤ 駅に歓迎等の表示看板が必要だ。

※地域協働体事務局の方

- ① 地域協働体補助金の使途基準は使い勝手が不便だ。

② まちづくりに適応した補助金要綱が必要だ。(地域の特色ある事業をするために)

例えば、岩淵麗楽選手の冬季オリンピック出場を祝し、祝砲を上げる費用についてやり取りの末「今回に限り」許可となったが、パブリックビューイング時の茶菓等柔軟に対応してほしい。

③ 議員の視察研修が市の施策に具体的に反映されることを期待する。

④ 市民センターの指定管理の状況を聞きたい。

## 【2班】

2月6日（大東コミュニティセンター 自由参加44名）

- ① 償却資産の残存価格について、固定資産税は所得税と違うので、納税者にとり不利だ。
- ② 防災無線が聞き取りにくい。
- ③ 議会傍聴者が少ない。関心を持ってもらうためにも、質問者、質問事項を回覧で市民に知らせるようにしたらいい。
- ④ 議員は質問を事前通告しているので、事前回答を得て、一問一答していったらどうか。
- ⑤ 投票率が下がった。議員定数を下げればもっと下がっていくのではないか。
- ⑥ 狐禅寺の覚書が履行されないと、一般市民は信頼できないと思っている。
- ⑦ 懇談会の時期が悪い。みんなが来れるような時間で、ざっくばらんに話ができるように。
- ⑧ 親しみやすい議会にするように。
- ⑨ 議会質問の最後に、自分の意見を述べるようにしたらいい。
- ⑩ 合併効果は出てきているが、1月10日岩手日日のゴミ袋の記事で、記名の取り扱いが地域で異なることは差別だと思う。分別をしっかりと進めるといって、努力がみえない。
- ⑪ 出張所の廃止は住民サービスの低下だ。
- ⑫ 市民センターの指定管理は、受けた側の使用者責任はどうなるのか。職員、市民が損害を被らないように。
- ⑬ 合併後、市民サービスが低い方に合わせられているように感じられる。低くならない形で行政サービスを。
- ⑭ 選挙に関心を持ってもらうために、投票立会人に役場OBではなく、公募でもいいから一般市民を。
- ⑮ 情報無線が廃止になり、地区の情報を聞くことができなくなった。マストも聞こえない。
- ⑯ 出張所の廃止は言語道断。興田地区の人口、面積は川崎より大きい。摺沢は大原より（扱い件数）多い。市民権の公平性からも重大だ。
- ⑰ 少子化、若者定住化対策について、全国六大都市以外で、農村型の強烈的な意見書を提出したらいい。
- ⑱ 少子高齢化、人口減少は対策しないから少なくなっているのだ。なぜ、一関市はやらないのか。
- ⑲ 松原地区にはマストがついていない。外での仕事が多いので、情報が入ってこない。
- ⑳ 放射能被害に関係して落ち葉使用について回答がない。

- ②① 北部開発センターが活用されていない。技術者もいない。
- ②② 学校教育について、サラリーマンを育てる教育であり、事業を起こすような教育でない。
- ②③ 投票所が少なくなり、高齢者は玄関が遠い場所になり、投票に余計行かなくなった。法律を変えて郵便でする投票を導入したらいい。
- ②④ 浄化槽が、個人型から市町村型になり、また個人型になるというが、負担が大きくなる。サービス低下にならないように。
- ②⑤ 情報無線がなくなり、住民サービスが低下している。
- ②⑥ 合併時に大きな予算がとれるからというので賛成したが、地域で行ってきたことができなくなった。道路についても、奥地のことまで考えてやってほしい。
- ②⑦ 地方創生では、資源（山、川）を使い、思い切ってやったらどうか。
- ②⑧ ゴミ処理の熱の利用を。
- ②⑨ I L Cは、丑石が銀座になると宣伝しているが、どう儲かるのか。
- ②⑩ （興田の）■■■■と■■■■が、私の家にいたずらしている。役場でも知っている。
- ③① 大東千厩線が12年凍結されているので、進めるように。
- ③② 高齢化で、回覧板を回すのも大変になってきているので、区長に全戸配布してもらいたい。
- ③③ 市議会だよりの文字を大きくするように。
- ③④ 社会資本整備というとはっきりしなくなるので、具体的に提言するように。
- ③⑤ 一関の焼却施設はいつできるのか。広域のクリーンセンターは一関・奥州での話があったが流れてしまったが、また一緒にやろうという話はないか。維持費のことを考えて、新しいごみ処理施設を一つにしてはどうか。
- ③⑥ 大東では7年後には50人の入学になる。教育施設のあり様を検討してほしい。単純に一つに寄せるようなものではなくて。
- ③⑦ 公共施設の有効活用を考えてもらいたい。
- ③⑧ 財源を確保してもらいたい。
- ③⑨ 合併してなにも良くなかった。分村運動をやっていく。
- ④⑩ 懇談会の時間が足りない。興田地区でやってほしい。

2月6日（川崎市民センター 自由参加20名）

- ① 中学校の部活動を先生の負担を軽くするためにも、育成会活動と部活動に切り分ける。
- ② 部活動を学校ごとにこだわらず、合同部活動が可能なようにする。
- ③ 部活動のあり方が中央教育審議会でも検討されているので、市教委でも検討願いたい。
- ④ 部活動が強制になっているが、生徒の将来の夢を掴まないように、強制をしないでほしい。
- ⑤ 防災無線が家の中で聞こえない。サッシを閉めると聞こえない。以前はマストと戸別受信機があった。戸別受信機をまた設置願いたい。
- ⑥ 防災無線の内容は、家の中では全然わからない。FMあすもでやるということだったが、時間を決めての今のやり方では無理だ。万遍なく伝えられるようにフル活用する工夫など情報を伝達する方策を講ずること。
- ⑦ 三角のラジオを使っていない。情報無線と違って使い勝手が悪い。もっと広報周知を徹底するように。
- ⑧ 予算がないということで情報無線をやめて、FMあすもでやれではダメだ。
- ⑨ FMあすもに、地区別放送を取り入れ、戸別受信機でのようにしたらいいのではないか。
- ⑩ 下水道と同じ負担でという考え方で市町村設置型の浄化槽だったが、個人型になるということなので、負担に差異ができないようにしてもらいたい。
- ⑪ この懇談会の機会はありがたいが、この時間では働く世代は来られない。30歳～50歳代の声を聞く気があるのか。
- ⑫ まちづくりには、20歳、30歳、40歳代の活力、アイデア、意見が大切だ。若い世代が住めるような職場など具体的な策が必要だ。
- ⑬ UJIターン、定住、結婚、出産などに祝い金を出し、うれしい気持ちになってもらったらいい。
- ⑭ 農業振興について市ができるものは何かないか。今の農業者は50歳、60歳代だ。何か新しい農業に挑戦しようとしても、年齢制限があり、補助対象外にされてしまう。やる気がある者には世代に関係なく支援をしてほしい。  
また、百姓をやってみないかという制度を作るのもいいと思う。
- ⑮ 鳥獣被害対策について、個人では対処できないレベルになっていて、補助を受けてやるには大きな金がかかりすぎてできない。市役所の中に鳥獣対策課を作り、シカ、ハクビシン、イノシシを駆除してほしい。現在は連絡すると、高い給料をもらっている2、3人が来て見るだけだ。
- ⑯ 地域の文化が崩れてきたような気がする。体育協会は事務局が活用されていない。福祉活動は民間任せ。防災、納税組合についてもそうだ。市民センターも制約されるみたいだ。こうしたことを合併前と比較してもらえないか。
- ⑰ 社会教育がおろそかになっているのではないか。貧弱だ。市民が相談する場

所もない。住民が住みたい地域を作るためにも地域にマッチした社会教育をしてもらいたい。

- ⑱ 人口が少なくなったからなくす、というのでは、誰も住まなくなってしまう。残すべきものは残せ。
- ⑲ 地域も大切だが、経済効率も必要だ。企業誘致をやっているのか。市長は議長とともに誘致に歩け。
- ⑳ 市民センター化について反対の声をあげた。社会教育主事は増員することだったが増員したか。
- ㉑ 企業誘致はどうなっているのか。北上製紙、NECのことは新聞で知ったが、北上市では東芝以外でもセブンイレブンの弁当工場のこと聞いた。なぜ、北上市は発展しているのか。
- ㉒ 一関はプレゼンの機会にいいところを訴えているのか。特別なものがあるのか。
- ㉓ 企業誘致がうまくいっていないために、高専の卒業生が外に出て行ってしまっている。
- ㉔ 懇談会の持ち方はこれでいいのか。今のやり方では限界がある。情報を提供する分野を決めてからやれば、もっと深まりが出るだろう。
- ㉕ ILCに触れる懇談会があってもいいのではないか。
- ㉖ 納税組合の報奨金の見直しが伝えられているが、川崎は26自治会が加入し、100%で収納率アップに努めている。一関ではグループなそうだが、グループでは加入率が悪くなる。
- ㉗ 川崎で開催された懇談会であったが、老人ホームを建てていかなければ、高齢化社会に対応できないのではないか。
- ㉘ 平成30年度予算において、高齢者、健康寿命を注視した対応を議員には見てもらいたい。課題をつぶすように働いてもらいたい。
- ㉙ 介護施設職員の取り合いが起きている。介護職員が不足して、施設に空き室が生じている。介護職員の負担を軽くするために介護ロボットの導入もあり、人が減ることも念頭においてもらいたい。市の一部で対応してもらいたい。(介護職員発言)。
- ㉚ 若い人が参加できるような懇談会を。
- ㉛ 子ども、高齢者、女性が重要だ。子どもに関しては保育園、待機児童。高齢者に関しては介護施設、施設職員の資質が下がってきているように思えるし、入るための苦労、金額、入居者、家族に対する職員の厳しさ。女性に関しては活躍支援を、出産離職すると再就職がむずかしい。
- ㉜ バイオマス発電所について、平成29年1月29日に企業の説明会があったが、以後、音沙汰がない。市長提言もあったが、議会ではどう進んでいるのか。

### 【3班】

2月5日（一関市役所花泉支所 自由参加26名）

- ① スポーツ少年団活動があまりにも多く、いずれも長時間となる。あまりスポ少に時間を取られたくないと思う人もいる。部活動を全員に課すことから脱却してほしい。初期投資も10万から20万ほどかかる。義務づけのような流れもあるので教育サイドに提言してほしい。スポ少活動が地域中心となるように働きかけを。習い事が部活で続けられない状況。
- ② 花泉中は長期休業中の部活動にスクールバスが出ない。千厩は出るそうだ。統合時の約束との話もあるが。
- ③ 小学生と高齢者との食事会などバス費用がかかる。スクールバスを活用できないか。
- ④ 高校生医療費無償化。一旦出す必要がないように現物給付にならないか。
- ⑤ 花巻、西根は10代の若者採用会社に補助金がある。市として若者採用企業に助成を。
- ⑥ 土日、給食のない日にご飯を食べるのに苦労している人はどのくらいか。土日に食べられる場所を。
- ⑦ 花泉小の統合問題。子供が減ったからではなく、花泉で子供を育てたくなる統合小づくりを進めたい。ご支援を。
- ⑧ H34年の統合後の体育館利用。床を抜いて、土を入れて野球、グランドゴルフ等に使えるようにしてはどうか。
- ⑨ 各党派での研修は全議員で行ってはどうか。年間、議員にかかっている費用はどのくらいか。
- ⑩ ILCについて、九州背振の情報と研究後のトンネルの活用。放射能物質の最終処分地にならないか懸念している。放射能最終処分地にしないとの条件を付して誘致活動しては。
- ⑪ 猫の多頭飼育崩壊が起きている。猫を増やす人の相談を受けているが、里親探しや避妊、去勢と続けるにも費用がかかる。盛岡市保健所は10,000円の補助金を出している。市として助成を。市に相談に行っても動物愛護の視点の部署がない。
- ⑫ 猫の飼い方など、となり近所の方の協力体制が欲しい。動物との共存について個人だけに負担をかけないで。
- ⑬ 近所で火事があった際、花泉高校の水が使えなかった。緊急時に使えないか考えて欲しい。
- ⑭ 2022年に花泉小が統合される。JRをまたぐこ線橋について、統合までになんとかならないか。
- ⑮ 合併してみると財政状況は極めて深刻。借金が多い。合併しない市町村ほど財政が楽。農業生産額も減っている。我々の前に議員に気づいて欲しい。財政の裏付けのない要望を聞いてもしょうがないのでは。議会で財政状況を勉強しては。周辺市町村との比較も大事。
- ⑯ 議会で財政についての発言、質疑がほとんどない。岩手県の予算概要、決算状況、宮城県の決算状況を持っている。一関のような予算状況はない。もっと切り詰めて財政運営をしないと一人当たりの借金が75万から150万になるかもしれない。合併時に財政計画を立てたはず、現在の状況と比較してはどうか。

議員は常に周辺に目を向け監視する必要があるのでは。頭に入れて 3 月議会に臨んで欲しい。議会運営がまずい。2 回目は部長。議員は政策を述べているのに事務的な答えをしている。だから何回もの質問になる。懇談会も 1 か所で 1 日かけるつもりでやってもらわないと困る。花泉議員 4 人で報告会もやって欲しい。

- ⑰ 老松のベゴニア館。市で補填しているが、新年会の部屋はだるまストーブ 2 個だけで、出された食事も冷たい。これでは客は来ない。入り口も除雪していない。こんなところに補填するなら市道に回して欲しい。
- ⑱ マストが 3 年前から全然聞こえない。消防で調べたら聞こえないと言っていたが、その後何の答えもない。
- ⑲ I L C はトンネルを掘るのは大変。外国では金がかかるから日本によこした。

2月5日（一関市役所千厩支所 自由参加38名）

- ① 清田地区には防災マストが2基しかなく、内野沢等は全然聞こえない。北朝鮮のミサイル情報も登下校時の子供たちに伝えることが出来なかった。考えて設置願いたい。松ノ木沢地区も地形上かよく聞こえない。
- ② 避難場所について、11区、12区は清田小、13区は農協改善センターだったが、ユーモア館となった。満杯となる恐れがあり、どこに行けば良いのか考えて欲しい。
- ③ 国道284号から体育館（駐車場狭い）に抜ける道路の整備（歩道がない）。支所から摺沢に抜ける道路の拡幅。病院から中学校に行く道路の外灯が暗い。
- ④ 認知症について、みんなで理解する必要がある。全員サポーターになるよう、議員には率先して取り組んで欲しい。オレンジリング、お願いお助けカードなどいろいろ取り組んでいるが如何ほどの効果があるのか疑問。行政の動きが遅い。高崎市ではGPSを無償貸与している。冬場の行方不明は命取り。
- ⑤ 婚活支援事業。支援員が減少している。議員も対策に取り組む体制を。
- ⑥ 政務調査費について、金額と行ってきて見てきたことをどのように役立てるか報告してほしい。
- ⑦ 林道市道線、H5にできたが未だに未舗装。中学生もテニスコートへの近道として利用している。前向きな対応を。
- ⑧ 薄衣大橋から花泉に抜ける道路。S30年代の道路のまま。改良を県に要望して欲しい。
- ⑨ 布団、綿の処理。袋に詰めて出したら、黄色の紙を貼られて、持っていってももらえなかった。どうすれば良いのか。
- ⑩ 八星運輸から中沢集会所間、混みあって迂回している状態。どこに要望すれば良いのか。
- ⑪ 北上製紙が閉鎖になるが、そのような会社を誘致できるか。このままだと地元に住めない。残った住宅や土地は相続放棄したいと考える。
- ⑫ 農業基盤整備事業、大平・根山地区は県で設計、H33に工事着工予定。清田、仏坂地区の基盤整備の促進をお願いしたい。6つ農業法人があるが、補助金をもらいながら四苦八苦している。農協の懇談会にも議員の姿が見えない。農業夫人の内容を掘り下げて、サポート願いたい。
- ⑬ 磐井病院の医者が少ない。大崎市民病院には耳鼻科だけでも3人の医者がいる。
- ⑭ 老人福祉センター、室根の方も来ており、手狭になってきている。清田小の跡地を福祉センターに再利用できないか。
- ⑮ ILC誘致、当地と対抗地域の九州の動きが見えないがどうなのか。
- ⑯ 産業都市の認定を受けているが、具体的に再生エネルギーの動きはある。バイオマスの推進員となっているが、竹林の整備はNPOではとても進展しない。チップ化の話もあるが市としての動きは。
- ⑰ 議員定数、議長は定数削減ありきではないと話している。懇談会では定数削減を提言しているのにどうなのか。懇談会場について8会場ではどうなのか。去年は20会場で行っている。

## 【4班】

2月6日（藤沢市民センター 自由参加34名）

- ① 住民基本条例が必要ではないか。平成25年にも話した。住民・行政が一体となった街づくりを、今センターが基本やっている。総合計画もあるが、それを市長・住民・議員・事業所がやっていると思うが、各々どのように関わって進めていくのか基本的な街づくりの視点は変わらない。そのためにも住民基本条例が必要ではないか。再度お願いしたい。
- ② 地域づくり計画を市民センターが作っているが、これが一関市の総合計画とどのようにリンクしていくのか、事業計画のリンクが見えづらい。是非総合計画とリンクするようにしてほしい。
- ③ 市の監査が、市と指定管理の分とは別でなければおかしい。一律の監査基準には無理がある。事務職員の仕事量が多く、同等の経費をもらわないと大変だ。それが無理ならば、指定管理は指定管理の監査基準を設けるべきだ。
- ④ 藤沢土地改良区と市に係る国営の進捗状況はどうなっているのか伺いたい。
- ⑤ 事業の申請をした時、担当者はいろいろ本庁に聞いて何回も書類を提出させられて頭にきて、行政不信になっている自治会長もいる。何度行っても用が足せない。もう一度書き直してくれと言われた。執行体制が問われる。支所の機能を強化してくれ。自治会長は平日勤めて、いない人が多い。これからは高齢化で足の問題、車の運転が大変になってくる。条例で見直しをしてもらいたい。サービスの見直しを要望する。
- ⑥ 議会と一部事務組合があるが、そこで発言する議員もいるが、一部事務組合に参加している議員の賛否が分かれるのはなぜか。
- ⑦ 藤崎線の県交通が3月で廃止され、市営バスになるが長く続けてもらえるか。高齢者は買い物が大変だ。
- ⑧ 毎日、川崎の道の駅に行っている。除雪、融雪剤はボランティアがやっている。道路の管理も良い。藤沢地域側は除雪が悪い。市民の安全のためにもしっかりした除雪をお願いしたい。
- ⑨ 除雪した後も日陰で凍結する。木を切って日陰にならないようにしてほしい。
- ⑩ JRの東西通路を無料にしてほしい。
- ⑪ 農地のハウス内をコンクリートにすると宅地並みの課税となる。農地としての課税となるよう認めてほしい。
- ⑫ 室根バイパスは間もなく完成する。次は藤沢バイパスをお願いしたい。
- ⑬ 藤沢地域は袋小路になっている。登米市から藤沢地域に抜けるようにトンネルを作って、ILCの現場にもつなげてほしい。宮城県と藤沢地域に抜けるトンネルを早急に作ってほしい。
- ⑭ 市内統一のごみ袋にしてほしい。

- ⑮ 台湾の有名スーパーが遠野に来て前沢からも出店してくれと言われ、リンゴと納豆を持って行った。リンゴがうまいとのことで、台湾の業者から「リンゴを売りたいので300、600」と言われた。それは1回に300、1年目は600ケースとのことだ。「了解した。」と返事したが、後日振興局から呼び出され、台湾とベトナムは貿易問題があり難しい。弘前市の知人に聞いたら「地元で検査をしないと出荷できない。」と言われた。青森県内には30~50の検査場があるが岩手県は盛岡市の矢巾のJA1箇所のみ。コンテナで藤沢から盛岡市まで輸送してもコストが合わない。是非一関管内に検査場を作ってほしい。加工品の納豆は36パックで200ケースは冷凍なので検査は不要。青果物はガス貯蔵庫で虫を殺菌して殺す。この施設の建設もお願いしたい。
- ⑯ 公共交通の件で市に提言をした。高齢化でバス停まで出てくるのが大変になっている。工夫した交通手段をお願いしたい。
- ⑰ 食生活改善推進委員をやっている。見回りを兼ねて1か月に1度食品を届けている。推進委員も高齢化で、今では60歳以上の方が多い。推進委員を増やしてほしい。合併前は各地域で講習会を受けて免許をもらっていた。合併後は、4日間の講習を一関地域まで行き受講しなければならず、出かけるのが大変になった。これからは、前のように地域で順繰りに講習会を開催してほしい。
- ⑱ 丁寧な除雪作業を望む。
- ⑲ 道路沿いの日陰になる木を人を頼んで切ったり、枝等のごみを処理するのもお金がかかる。業者に伐採して処分してくれと頼めばやってくれるのではないかと。丸太不足で大変だとの声も聞こえてくる。
- ⑳ 大籠の太陽光発電はいつからやるのか。雨が降っても大丈夫なのか。
- ㉑ 行動する議員であってほしい。東京都の世田谷区の女性議員は毎日ブログを更新している。副市長は「人口減少問題は喫緊の課題だ。」というがそれがどういうものなのか具体的に見えてこない。議場での口論もいいが、議論した後どうなったのか、議員個人の活動・行動が見えてこない。意思表示を示してほしい。
- ㉒ 指定管理の在り方、協働のまちづくりに関して、地域協働推進委員として去年やってみた。市の話に乗って指定管理を進めてきたが、そんなに急ぐ必要がなかった。思った以上に大変で今後どうなるか心配だ。去年の3月までやってみたが、年間320万円の補助金で、140万が人件費、残り180万円が事業費。この事業費を活かしビジネスを起こして地元が潤い、公民館の事業を継続していくのが本来の目的だ。一例をあげると花泉地域では、読書感想文に3万円出したとか、地域標語に5万円出したとか、運動会に10万円出したとか180万円の予算があっても小出しに出して、来年もらえるかどうかわからないから70万円を先送りにしましょうとかで、全く本質に触れていない。研修にも自腹を切って様々な会合にも参加した。全国の事例も聞いてきた。遠野のどぶろくは特区第1号でビジネスをおこし、儲けを出している。室根地域でも植林をして全国から人が集まっている。この辺では、どこも事業を起こしていない。

もっと本質を住民の方にご理解いただいて、何とか若い人を中心に事業を起こして、若い人に理解をいただき、遂行するためにも地元の議員たちが真剣に説得して訴えてほしい。

- ⑳ 総合デザインPDGAの結果はどうなっているのかただしてほしい。
- ㉑ 保育所建設の件について、近所の老人が面倒を見られるような簡単な企業内託児所のようなものを作る働きかけを、議員の中で協議会を作って地元の企業に進めてほしい。若い人の呼び水となる。
- ㉒ 結婚してここに住むと決まった以上、この空き家にただで住んで下さいとか、土地も無償であげるからといった形で全国から応募する。地元住民になってもらうのだという強い覚悟と決意がないとだめだ。今時、若い人の引っ張り合いをしても人口が増えるわけがない。今年の成人式では、出席者の半数以上が外国人の自治体もあった。一関市にも外国人が大勢きている。この人たちが市内に長く住んでもらえるような新しい施策を作ること行政・議員が一丸となってやってほしい。
- ㉓ 道路にかぶってじゃまな木の伐採について、区長に相談したががちが明かず、班長になったので自ら動いた。直接地主と交渉し了解をもらった。自治会のメンバーに声をかけ自治会事業として伐採をしてもらった。幹や枝などは炭焼きをしている人に引き取ってもらった。行政の動き、段取りをうまくやってもらいたい。なかなかその動きが見えない。
- ㉔ 今必要なことを今やってほしい。働き口がないのにどうやって生活していくのか。今後の見通しを将来と現在の問題を並行しながら実行していくこと。
- ㉕ 子育て問題について、今中学校のいじめが問題になっている。私の子供もいじめにあった。3月定例会で小菅教育長は、いじめの重大事態はないと語った。そんなことはないかと謝罪を求めたが拒否された。不登校になっている子供が何人いるかわかっている議員はいますか。2年前は74人が不登校。今は何人が問い合わせした。減少しているが何人かわからないとの返事。自立支援教室には何人きているかと聞いたところ10人。毎年10人前後来ているとのこと。他の子は自宅でプリント問題やら問題集を独自で学習するしかない。これは不登校の生徒を切り捨てているのではないのでしょうか。教育委員会にこのことを突きつけたところ、「各学校にお任せしている。」との返事。そこに問題が起きた。

たまたま南光病院の児童精神科に行ったとき、中学校のことでフラッシュバックを起こしたという患者さんに会った。その子は20歳の男の子。このことをすぐに教育委員会に知らせて「このような子どもたちがいるんですよ。この子はどうしたらいいんですか。何もできないんですよ。もう卒業していますから。」と教育委員会に言ったら「小学校・中学校各担当者に分かれて全部回ってもらった。」中学校は2順目をやり終えたところだと思う。南光病院の精神小児科の先生が3年前から中学校にクレームを出している。中学校の生徒指導は何をやっているんだ。うちの子も同じ目にあった。うちの子は不登校になっ

たので「今後の学校の教育方針を教えてください。」と担任に話したが、返事は「上の者と相談します。」とのことだった。その時には不登校になってからかなり日が経っていて3学期も始まっていた時だった。それでも教育計画は立てていなかった。このようなことが各学校でも起きているのではないか。不登校の子供だけじゃない。要支援の子供もいる。そういう子供に対して各学校で教育計画を立てて下さいと議員の皆さんから教育長に対して強くお願いしてほしい。切り捨てられた子供たちを何とか救ってあげてほしい。

- ②⑨ 去年の説明会では、藤沢線、大籠線も平成30年9月で被災地特例が切れるとのこと。切れれば廃止になるのか。廃止になれば市で対応するのか。
- ③⑩ 藤沢支所に寄ってきたが、職員の数が少ない。これ以上減らさないでほしい。
- ③⑪ 空き家対策についてだが、藤沢地域には3人の議員がいる。地元にはどんな空き家があるのか近所の人と対話する機会はある。全国のモデルを研究してほしい。
- ③⑫ 県交通の乗車率は以前から悪かった。学割定期は、1か月で4万円を超える。親が車で送迎するのでほとんどバスに乗らない。高校生の家庭には現物支給。半分を現物支給にしたらどうか。かなり前にもこの話はしたが全然解決していない。最終が午後6時半。クラブ活動もできない状態だ。藤沢停まりは7時少し前にある。それを黄海の公民館前まで伸ばしてほしいと頼んだことがある。千厩高校からは帰りのバスはある。花泉方面に行ったら帰りのバスがない。子供達が一高、付属中学に入った一家は一関地域に引っ越し、親は藤沢地域に逆に通っている。地元の間人なのに、地元の企業に直接行けない状況だ。是非考えてほしい。バスがあるのに高校生が通学できない状態だ。
- ③⑬ ひのくち橋の架け替えを要望している。今の優先順位はどの位置にあるのか。
- ③⑭ 要望だが、県道薄衣東和線、黄海から三陸道に行くとき、曲田を越えていくが、曲田から県境を越えて行くと、車のすれ違いが出来ない狭い場所がある。隣接する登米市と協議して拡幅工事をお願いしたい。それと七日町から薄衣にかけての県道は拡幅が困難。黄海地区では圃場整備工事がされている。県道の付け替えを検討している。
- ③⑮ 高齢者が免許更新の時に警察に行くと、お手元の資料が渡される。その中で一関市は運転免許自主返納者には1回限りだが12,000円のバス・タクシーの乗車券を交付するということだ。裏の資料を見ると企業では5、市町村では11ある。まだまだ岩手県全体としてはサポート制度は浸透していない。市の乗車券事業については但し書きがあり、高齢者福祉乗車券、障害者福祉乗車券の交付を受けない方とある。ダブってはだめだとのことだ。言いたいのは福祉と運転免許返納は別物だと思う。

長年運転して、運転を卒業するご褒美としてあげるのがサポートだと思う。その辺、福祉と免許制度を分けてもらいたい。当局には会議の時に話している。1年ポッキリではなく、それ以降のことも考えてほしい。交通体系の促進を考

えれば1年ポッキリではだめだ。一覧表を見て考えてほしい。東京のNPOに「ふるさと回帰支援センター」がある。田舎で生活したい人を支援する組織で、全国 850 地域と連携している。山形と青森が一生懸命でかなりの成果を上げている。この制度を利用して宮崎県の農家に行った人もいる。空き家対策、定住促進にうまく利用すればいい。

- ③⑥ 議員が 30 名いるので、1 年 1 組の結婚促進をしてほしい。
- ③⑦ 外から来る人が来たくても来れない。大籠から一関地域に行って帰ってくるのはOKだが、一関地域から大籠に来て、一関地域に戻るのに交通の便が悪い。宮城県から来た人が、県境、大籠、本吉、よねかわの交通が全く途絶えている。そのことも是非考えてほしい。
- ③⑧ 地元では宮城県等に土を運んでいる。道路のすれ違いが出来ない。一方通行になる。畑を提供するから道を広げてほしいとの話もある。当初1年だけの予定とのことだったが、延長、延長で3～4年になるが住民の負担軽減のことも考えてほしい。
- ③⑨ 国公営開発の件もある。都会から親の面倒を見るために帰ってきた人が、「これなら帰ってこないほうが良かった。」と思われぬように環境の整備にもしっかりと配慮してほしい。
- ④⑩ 全国には、夜、休日、祝日に議会をやって、勤めている人でも議員になれるとの制度もあるようなので考えてほしい。このような懇談会も平日は参加が難しい。時間なども考えてほしい。

2月6日（室根曲ろくセンター 自由参加19名）

- ① 少子化で人の確保が困難。外国人の実習生に頼っている。何とか日本人を確保している状況。市民との距離感を縮めて小中高生に地元企業を知ってもらいたい。食育活動、学校訪問をしているが、触れ合う機会が少ない。地元企業に触れ合う機会の授業を多くしてほしい。学科まではいかなくても、伝統工芸にも触れてもらい国際化の人間を作ってくればよい。人口対策を基本に産業対策も望む。ベトナムからの実習生も来ている。国際交流も人口減少対策の一つ。ベトナムとの交流を深め、結婚と結びつけるようなところまで持っていければよい。
- ② 小学校の統合問題で、東と西の小学校を統合して一つにする約束が10年前にされた。去年やっと話合いがあった。大きくして切磋琢磨できるような教育環境を作してほしい。
- ③ 上下水道の件だが、室根地域には水源がない。合併して千厩地域から引っ張る話もあるが経費がかかり断ち切れた。3分の1しか水道がない。最低限のインフラを検討してほしい。
- ③ 子供が少ない。65歳以上が40%以上だ。何か歯止めをかける方法はないのか。
- ④ 行政視察のことだが、視察の報告がない。行くなら一関市と同等の規模へ行くこと。何か一つでも実現して市内に普及させてほしい。
- ⑤ イベント情報をもっと流してほしい。
- ⑥ 人口が流出している。財産評価を下げて、荒らさないようにしてほしい。
- ⑦ 水道の維持管理は行政がしてほしい。気仙沼市は評価が高いが、室根地域は水道がないので評価が低い。気仙沼市から水を買うのは可能だ。何回も話をしている。気仙沼市、一関市の両市議たちが一緒になって検討してほしい。水道のない場所に人は住まない。
- ⑧ 気仙沼市に行きたいが、高齢化で足がない。家族は昼間は仕事でいない。バスを通して誰も乗らない。隣接県なのにあまり交流がない。気仙沼市までは15分で行けるのに。
- ⑨ かつて室根地域はリサイクル率が県下で1番だった。もっと住民に資源の活用を訴えてほしい。
- ⑩ 学校に全て上下水道がないのはふさわしくない。プールを作るにも必要だ。室根地域全体に水道を引くのに問題があるのなら、せめて公共施設にだけは引いてもらう努力をしてほしい。
- ⑪ 道路問題について、室根本吉線だが、途中の志津川まで来ている。室根地域、千厩地域の人には東北自動車道まで行かなくても良くなる。室根本吉線の果たす役割は大きい。

津谷川の道路は、これが県道なのかと言われるくらいひどい。問題部分を早急に改良してほしい。県に要望してほしい。

⑫ 人口減少問題は、室根地域の基幹産業の荒廃につながり、高齢化が進み、土地の放棄も広がっている。小山ブローラーは室根地域の稼ぎどころだ。

新しい工場を建てたいが、農地の絡みがある。農地を集積して新しい別産業に提供できるようになれば、活力ある産業につながる。この問題を議員で考えてほしい。

⑬ 室根地域の土木建設業が一番困っていることは、仕事がないことだ。市からの発注工事がなくなった。背景には、室根バイパス建設に100%入っている状況。それ以外の工事は全くない。会社は人を雇用するにも大変な状況。ある程度の公共工事が必要ではないのか。民間ベースだけの事業発注はなかなか期待できない。

⑭ 市の一番の基本は「安心安全な街づくり」。これに関連していろいろなものが動いているが、「安心安全な街づくり」にどれだけ力を入れているのかを思うと疑問を呈するところがある。交通指導隊の設置条例があり、指導員の養成をしっかりとやるとうたっている。しかし一般的な防犯隊については、それが全くない。それは地域の小さな単位での防犯協会が依頼しているが、市長が任命する防犯隊というのが絶対だろう。I L C、ラグビーワールドカップ等大きなイベントがある。室根地域、千厩地域等の小さな個別の単位で防犯隊長が任命した防犯隊員というのはまずいのではないか。

防犯隊員として資質の教育とか装備なども一律に市が責任を持ってやるのが筋ではないか。防犯隊員の設置の条例を議員発議で作ってもらえないか。

⑮ 地域協同体が各々の地域課題、計画を作っている。市の総合計画を作る際に各地域の課題、要望を計画の中に盛り込む仕組みを作してほしい。自分の地域は自分達で考えて参画する意識を持つまで議会で意識高揚を進めてほしい。

⑯ 学校統合については、平成30年4月から千厩地域、平成31～34年は花泉地域、それ以降に室根地域となるような話だ。来年から室根東中は複式となる。学校設置条例を改正してほしい。父兄からも声があがっている。学力低下につながらないか心配の声がある。

⑰ 県道218号で落差や急カーブがあるので、救急搬送の際に遠回りをした話を聞いた。早期の改修を頼みたい。

⑱ 若者定住の件で、水道普及が30%、津谷川は75%、水が余っているので矢越にその水を持ってくる計画はないのか。

⑲ 公債費率が11.5%で10%を越えている。総合開発をするときには、地域住民の意見も聞いてほしい。

⑳ 高齢化率が40%を越えている。免許返納のことだが、なくなれば不便になる。だが老人の運転は大事故につながる。交通機関の充実を望む。

㉑ 老人の1人、2人暮らしが増えている。対策を望む。都会から地元に来るよう啓蒙してほしい。

㉒ 診療所の雪かきを、看護師、先生がやっている。遠くから来ていただいている医師に雪かきをさせるのはいかなものか。他の診療所はどうなっている

のか。市の職員が雪かきをできないものか。

- ②④ 防犯隊の制服がほしい。防犯隊と社協の連携がほしい。10～20年先の市の防犯の在り方を考えてほしい。
- ②⑤ 要望が2点ある。
  - 1点目が、国道の側溝の掃除。夏にゴキブリが側溝から出てきて困る。掃除してくれと要望出しているが、国道だから国の管理だからできないと言われた。
  - 2点目が、国道の大川の掃除。草刈りを住民がやってきたが、建設業者にもやってほしい。川底に砂がたまり、かやが大きくなっている。市に頼んでもやってくれない。自治会でやろうとしたが、周りから「危険なことをやるな」と止められた。橋の周囲だけでも景観を良くしたいので建設業者をお願いしたい。
- ②⑥ 除雪の腕を磨いてほしい。凍結、わだちなど、最初の除雪をしっかりとやれば問題ない。
- ②⑦ 若者の結婚が進む地域づくりをお願いしたい。
- ②⑧ 学校統合で校舎の空きが出る。活用をどうするか。現状のまま使えと言われても無理がある。学校として使わないなら、解体または更地にして、新しいものを作るというのが民間の考えだ。市はどこまでやれるか検討してほしい。
- ②⑨ 室根バイパスの所々にハードボックスがある。暗くて危険。建設課に話したが、どうするか県からも返答がない。開通前に解決してほしい。
- ②⑩ 今日の結果を、遅くとも1か月以内に回答してほしい。つぶさに対応してほしい。
- ②⑪ 大川の件について、かやが茂り、災害が増えてきている。県としての対応を望む。
- ②⑫ 2人で月曜から金曜までパトロールしているが、土日にかけて小動物の死体を投げる人がいる。土日でもパトロールを。パトロールのやり方を考えて予算を有効に使ってほしい。誰のためのパトロールなのか。